

資料 2

地域団体の取り組みの 把握について

第 1 回松戸市地域福祉計画推進委員会

開催：令和元年 7 月 3 1 日（水）

作成：健康福祉部 地域福祉課



■目的

地域福祉を推進するには、市民や町会・自治会、ボランティア、NPO、各種団体の支えが重要です。地域において、どのような活動が行われ、問題が生じているか等を把握し、次期計画策定の参考資料とすることを目的といたします。

平成27年に調査を実施しているところから、地域団体の経年変化の把握にも努める目的としています。

なお、取りまとめた結果はホームページ等に公表し、地域団体の声を幅広く情報共有していきたいと考えています。

■関係団体

No	関係団体	配布数
1	町会・自治会	346
2	市民活動団体	97
3	高齢者支援連絡会	9
4	松戸市保育園協議会	54
5	特別養護老人ホーム連絡協議会	24
6	民生委員児童委員協議会	18
7	地域包括支援センター	15
8	松戸市ボランティア連絡協議会	13
9	松戸市障害者団体連絡協議会	8
10	市内各郵便局	40
11	その他市内事業者等	28
	合計	652

※団体の解散など、配布数には増減が生じる可能性があります。

■実施スケジュール

令和元年6月～7月 各関係団体へアンケート調査 発送開始

令和元年8月～12月 郵送等にてアンケート回収・とりまとめ

令和2年1月 第2回松戸市地域福祉計画推進委員会【最終報告】

地域団体の取り組みの把握に関するアンケート

団体・事業者名： _____

記入者（役職）： _____ 連絡先： _____

実施主体：松戸市役所 健康福祉部 地域福祉課（TEL：047-366-3019）

地域におけるボランティア活動や福祉活動に取り組んでいますか
1. はい 2. いいえ 「1. はい」と回答した場合⇒「取り組み名」から始まる設問にお答え下さい。 「2. いいえ」と回答した場合⇒参加できない理由を下記選択肢からお選び下さい。 1. 機会やきっかけが無い 2. 活動に取り組む人手がない 3. 他の事業者や団体等との関連が弱い 4. その他（ _____ ）
※ 「2. いいえ」と回答した場合のみ、以下の設問にもご回答願います。
ボランティア活動や福祉活動に取り組む必要性についてどのようにお考えか、下記選択肢からお選びください。
1. 必要性を感じている 2. 必要性を感じていない 3. どちらともいえない 4. その他（ _____ ）
ボランティア活動や福祉活動を活性化していく上で、行政に期待する役割などありましたらご記入ください。

「2. いいえ」と回答した方はアンケート終了です。ご協力ありがとうございました。

下記に取り組み名をご記入下さい。 また、ボランティア活動の場合には（ _____ ）内に○をつけてください。	
取り組み名	_____（ _____ ）
取り組みに該当する項目に○をつけてください。（複数回答可）	
まちづくり 健康・医療 防犯 防災 相談支援 就労支援 人材育成 障害者支援 介護 声かけ・見守り サロン 子育て支援 世代間交流 文化・芸術 その他（ _____ ）	
取り組みについて、具体的にどのようなことを行うのか、ご記入ください。	
取り組み内容	

取り組みの対象となる方について、該当区分に○をつけてください。(複数回答可)			
対象者	高齢 障害 子ども 女性 その他 ()		
取り組みについて、平成30年度の開催数や、利用者数・従事者数・活動開始時期等をご記入下さい。また、活動経費・財源・周知方法の該当箇所に○をつけてください。			
開催数	利用者数	従事者数	活動開始時期
回/年	人	人	
活動している中での特長があれば、ご記入ください。			
活動当初と比較して変化したことがあれば、ご記入下さい。			
活動経費 ※おおよそで構いません			
1万円未満	1万円～5万円	5万円～10万円	10万円～30万円
30万円～50万円	50万円～100万円	100万円～500万円	
500万円～1,000万円	1000万円以上		
財源 (収入源)			
会費	自主事業収入	寄付金	民間からの助成金
行政からの助成金	その他 ()		
周知方法			
ホームページ	チラシ	町会・自治会の回覧や掲示板	
ポスター掲示	声かけ	その他 ()	
取り組む中で、問題や課題になっていることに該当区分に○をつけてください。(複数回答可)			
1. 取り組みの周知や情報発信の機会が少ない 2. 利用者が減少している 3. 従事者が不足している 4. 従事者の高齢化が進んでいる 5. 新しい事業展開が行えずにマンネリ化している 6. 他の事業者等との連携が弱い 7. 財政面での不安がある 8. 地域での理解が不十分である 9. 拠点の確保が困難である 10. その他 ()			
問題や課題について、具体的内容があればご記載下さい。			
(例) 地域に交流を持てる場所がないため、話し合いをする場所の確保が難しい。			

取り組む中で、必要と感じていることに○をつけてください。(複数回答可)

1. 広報活動 2. 組織づくり(従事者の確保等) 3. 他の事業者・団体との連携
4. 財政面での補助 5. 拠点の確保 6. その他()

取り組みの中での様々な問題や課題を解決する上で、行政に対して期待する支援や役割などありましたらご記入願います。

取り組みの今後の方向性について、下記いずれかに○をつけてください。

- 拡大 維持 縮小 終了 その他()

貴団体において、今後新たに取り組む内容があればご記載下さい。

各種取り組み結果から、次期「松戸市地域福祉計画」に反映すべき事項がありましたらご記入ください。

その他、地域福祉について、ご意見等がございましたらご記載下さい。

以上でアンケートは終了になります。ご協力ありがとうございました。

**第2次松戸市地域福祉計画に関連する
地域団体の取り組みの把握結果**

【抜粋】

平成27年7月
松戸市

■方 法

- (1)対 象：松戸市で活動する民間企業、複合サービス、福祉関係機関、
市民活動登録団体、地域団体、町会・自治会
- (2)期 間：平成27年3月～5月
- (3)方 法：郵送・FAX・メールによる配布・回収

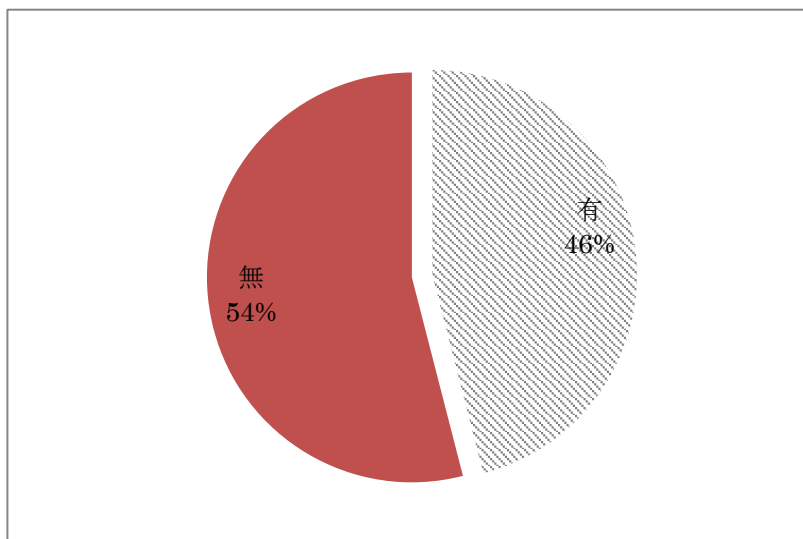
■回収結果

No.	種 別	配布数	回収数	回収率(%)
1	民間企業	7	4	57.1
2	複合サービス	49	4	8.2
3	福祉関係機関	81	36	44.4
4	市民活動登録団体	113	56	49.6
5	地域団体	63	52	82.5
6	町会・自治会	364	198	54.4
	計	677	350	51.7

■結 果

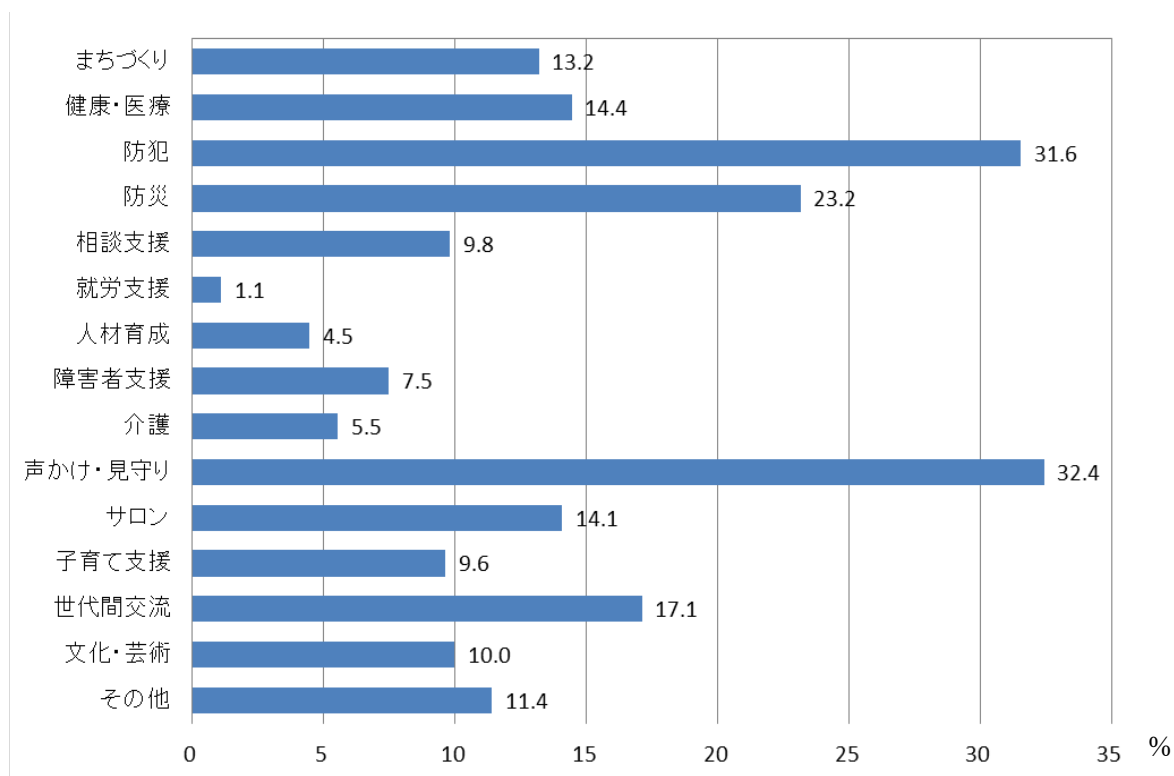
- (1)ボランティア活動の有無・・・ボランティア活動の一環で取り組んでいるのは、全体で46%となっている。

回答数：561

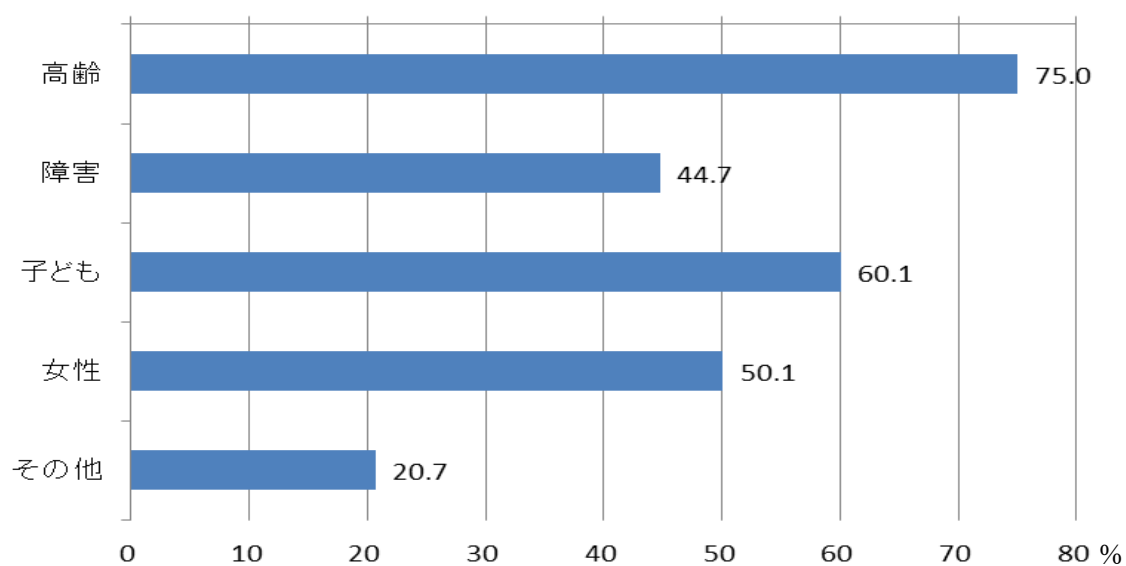


(2) 分野(複数回答)・・・地域の中で、「声かけ・見守り」、「防犯」、「防災」に関連した取り組みを行っている団体が多い。

回答数：561

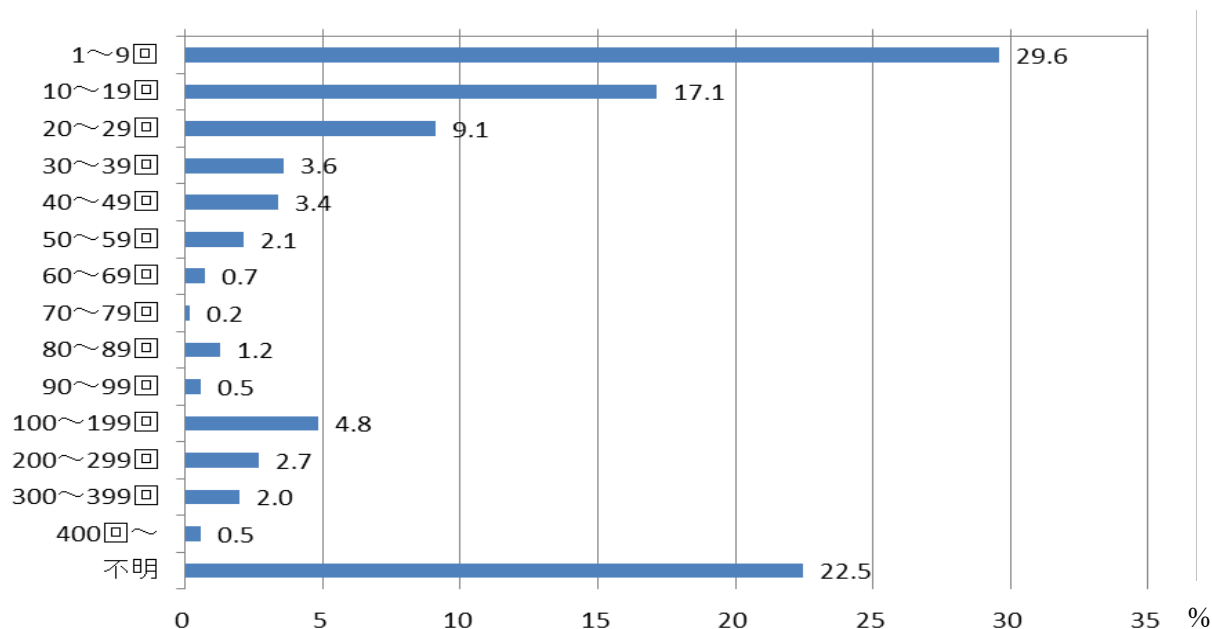


(3) 対象者(複数回答)・・・「高齢者」、次いで「子ども」、「女性」に対して取り組んでいる団体が多い。回答数：561



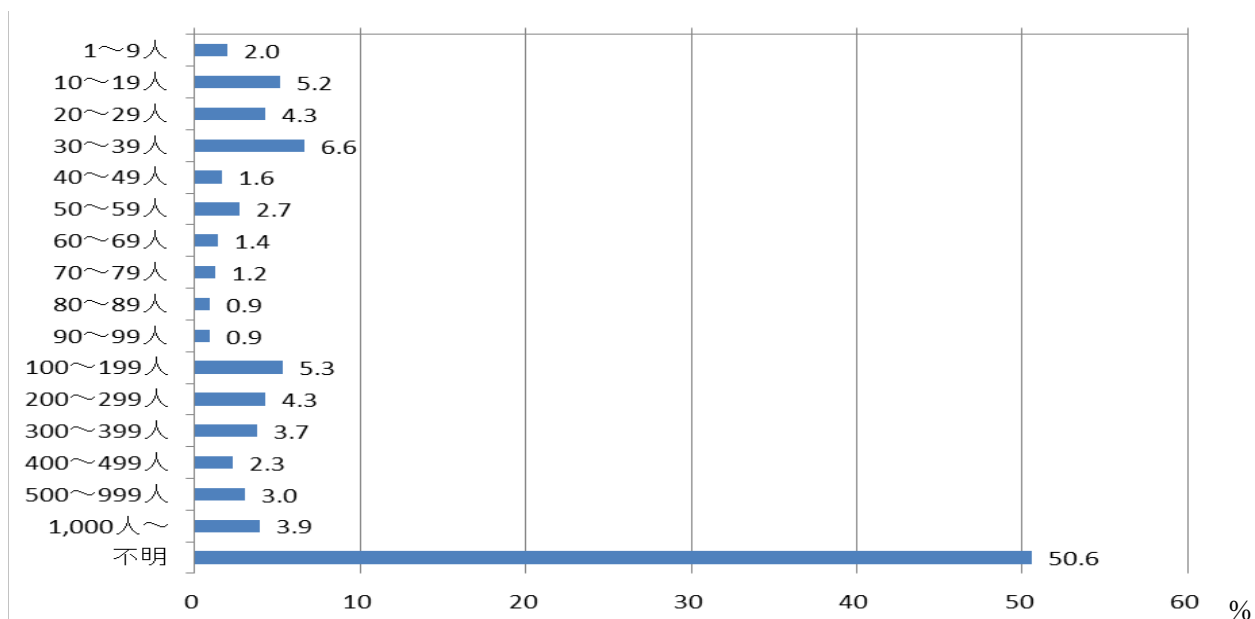
(4) 開催数(回/年)・・・取り組みの頻度は、「年に数回」が多く、次いで「毎月1回」取り組んでいる団体が多い。

回答数：561



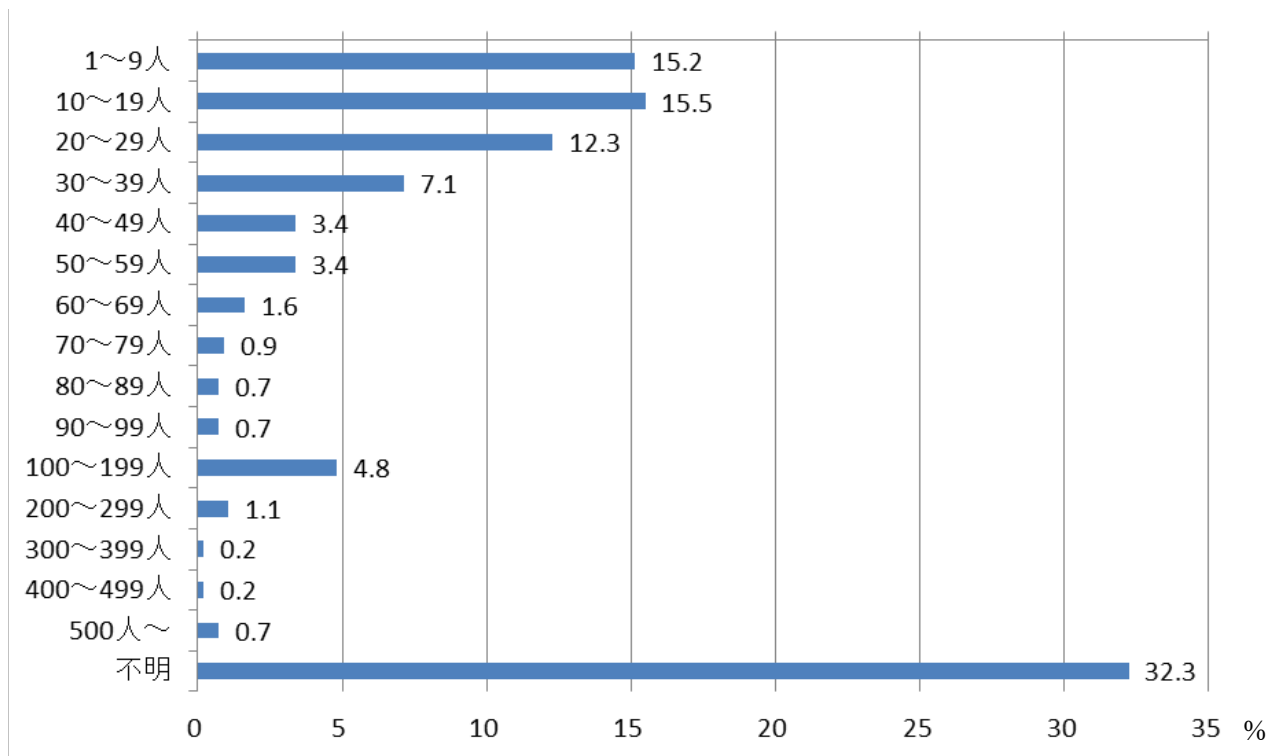
(5) 利用者(会員)数・・・取り組みに参加する利用者は、「100名以上」が約2割、「49名以下」が約2割であり、取り組みの内容や年間の開催数によって利用者の規模が異なる。

回答数：561



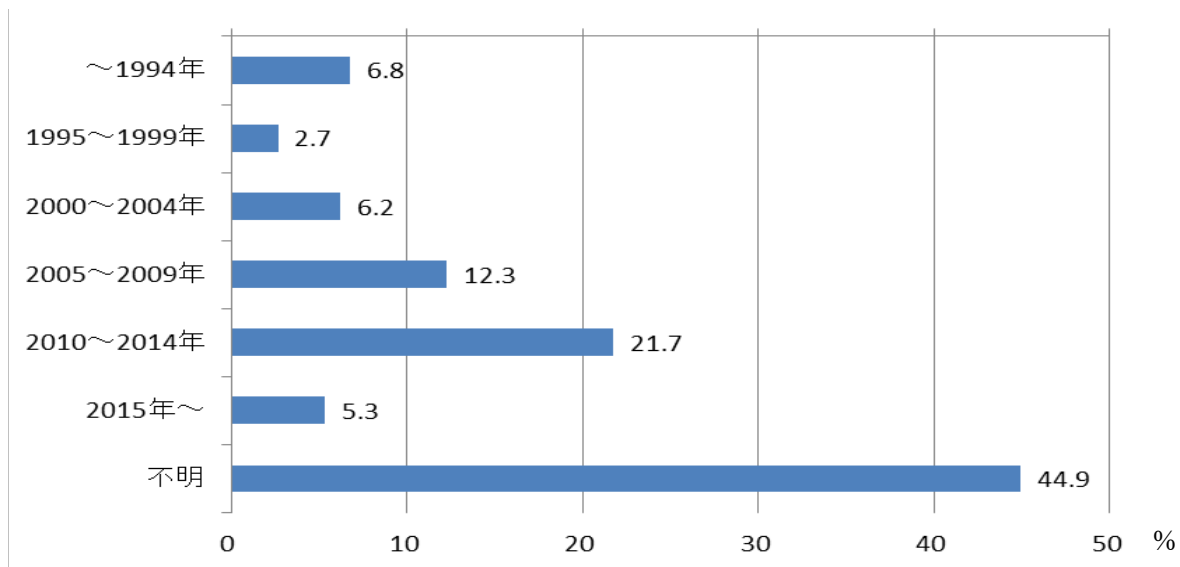
(6) 従事者数・・・「29 名以下」の団体が 42%であり、市内における地域活動の担い手は、比較的小規模な団体が多い。

回答数：561



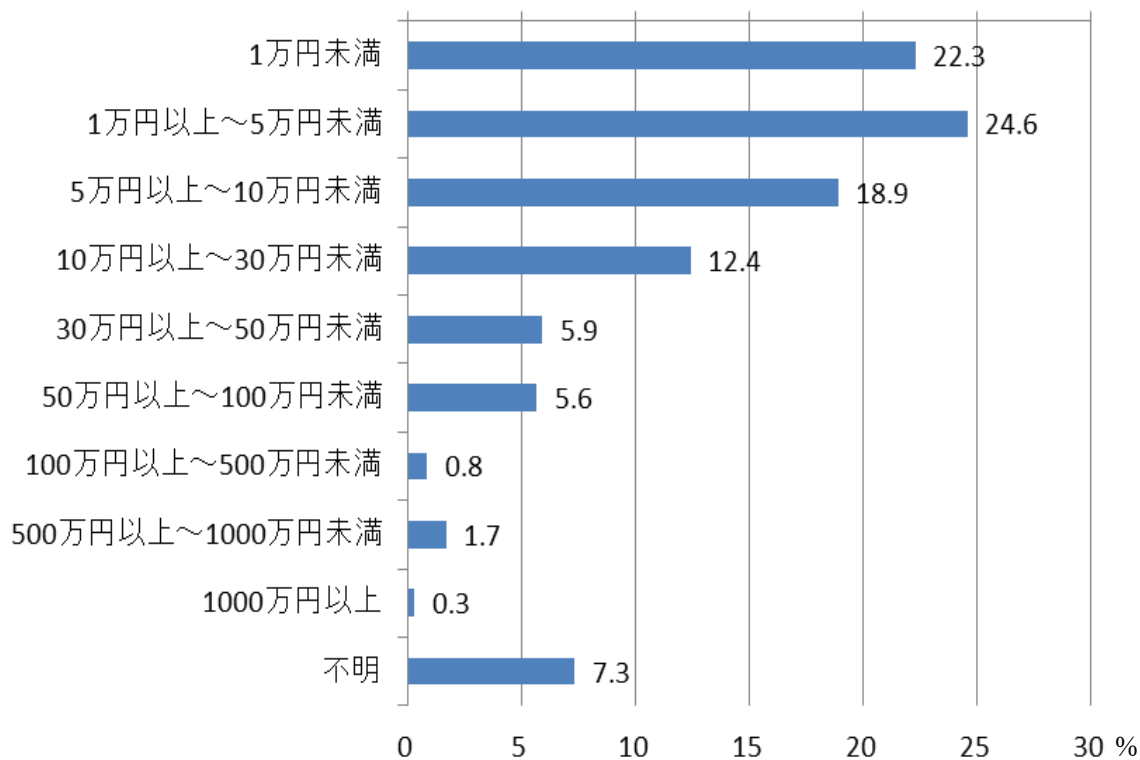
(7) 活動開始時期・・・「5,6 年前」から取り組んでいる団体が約 2 割、比較的に新しく取り組みを始めた団体が多い。

回答数：561



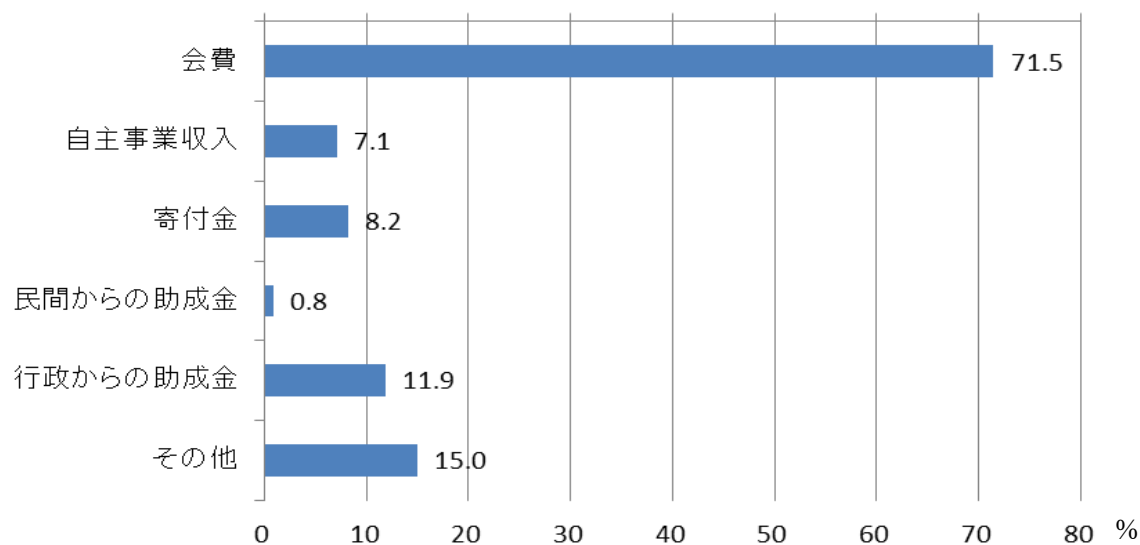
(8) 活動経費(町会・自治会のみ)・・・町会・自治会が行っている取り組みの活動経費は、「5万円未満」が47%で最も多い。

回答数：354



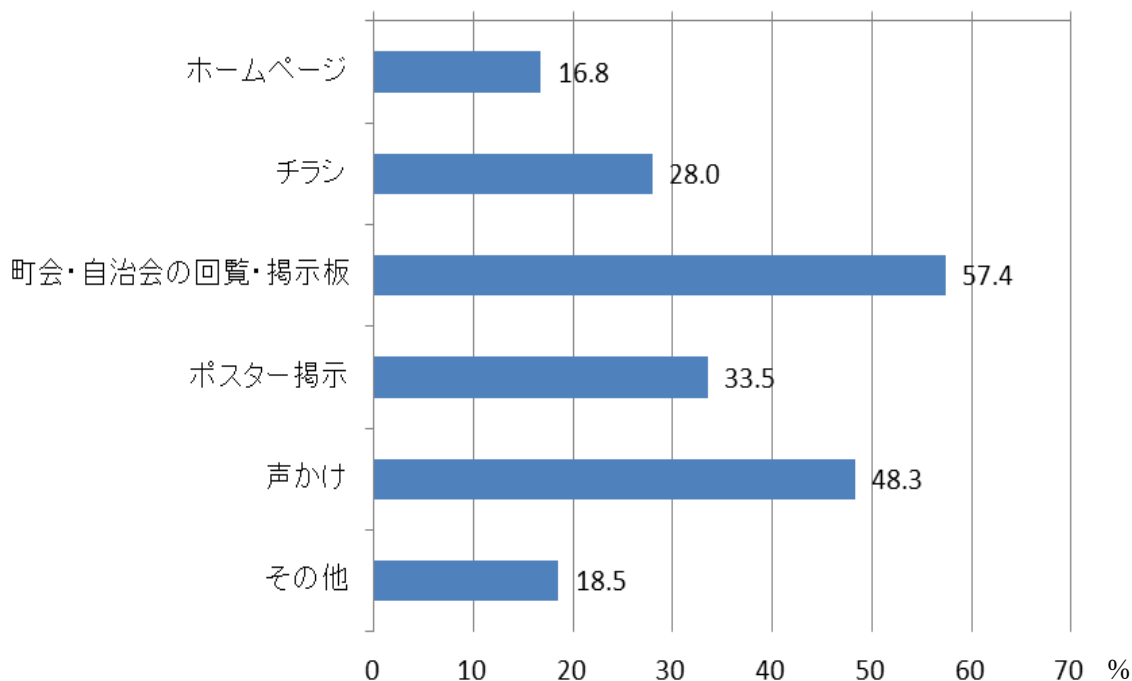
(9) 財源(収入源)(町会・自治会のみ)(複数回答)・・・町会・自治会の取り組みを支える収入は、「会費」が最も多い。「その他」の内容は、支出のある都度、会員個人が負担している町会・自治会が多い。

回答数：354



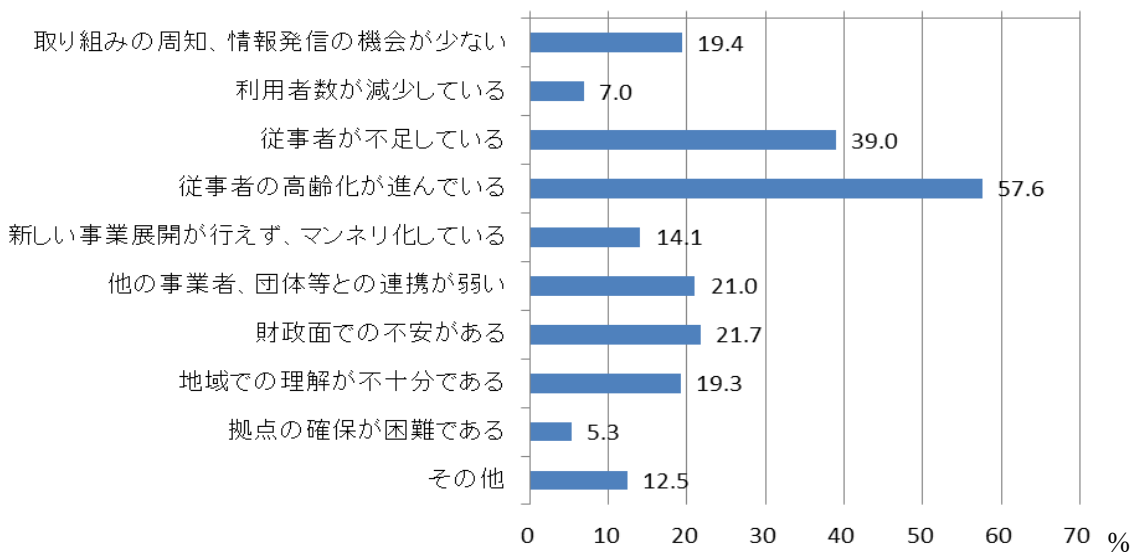
(10) 周知方法(複数回答)・・・「町会・自治会の回覧や掲示板」による周知が最も多く、次いで「声かけ」による周知も多い。「その他」の内容は、市の広報誌を活用して周知している団体が多い。

回答数：561



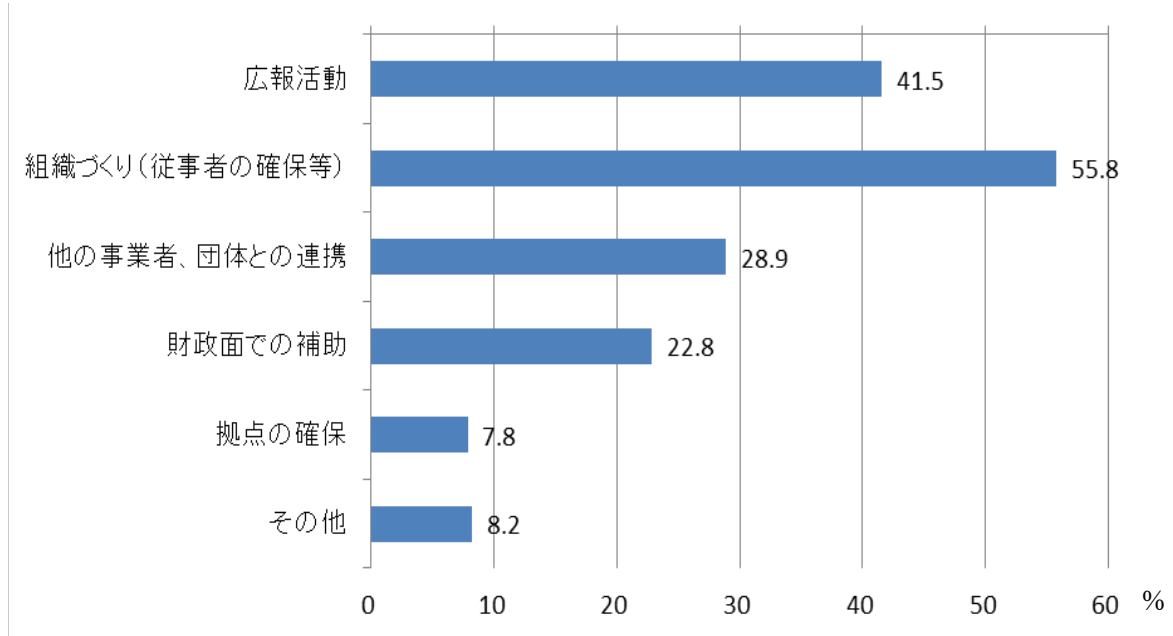
(11) 問題点(複数回答)・・・「従事者の高齢化が進んでいる」、次いで「従事者が不足している」が最も多く、地域で取り組む上で担い手不足が大きな問題点となっている。

回答数：561



(12) 取り組む上で必要と感じること(複数回答)・・・「組織づくり(従事者の確保等)」が最も多く、次いで「広報活動」を必要と感じる団体が多い。

回答数：561



(13) 今後の方向性・・・今後も「維持」していく取り組みが約 65%と最も多く、次いで「拡大」していく取り組みは 30%と多い。

回答数：561

